

平成 30 年度南海トラフ地震対策に関する調査票

法人名【社会福祉法人 昭和会】

事業所名【児童発達支援センター しんほんまち】

1. 自宅被害（津波浸水被害）

※津波浸水地域における被災状況（高知県防災マップが示す最高水位）

被害状況	最大浸水	入所利用者	通所利用者	職員
被害なし				5
床下浸水	0.5m 以下			2
床上浸水	1.0m			3
木造家屋の半数が全壊	2.0m			2
木造家屋の殆どが全壊	3.0m			2
2階建ての建物が水没	5.0m 以上			
3階建ての水没	10m以上			
合計				14

※通園児童は調査対象から除く

2. 施設被害

※津波浸水地域における被災状況は（高知県防災マップ参照）

- ① 施設建屋の損壊（極めて高い・高い・**中**・低い）

浸水：2.0～3.0m

建物被害：液状化の可能性大の地域であるため、建物が傾くことが想定される。

- ② 進入道路等の損壊（**極めて高い**）・高い・中・低い）

被害想定：施設周辺 2.0～3.0mの浸水があり、液状化の可能性も高く、孤立が予測される。

3. 準備状況（利用児 40 名、職員 17 名 / 現在 1～3 日分 ※7 日間を想定して準備中）

- ① ライフラインの確保方法（電気、熱（ガソリン他）、水）**有**・無

電気	ガソリン発電機×3 ランタン×10
燃料	公用車ガソリン（通常時ガソリンが半分以下にならないようにしている） 木炭 6kg×1
ガス	カセットボンベ×17（カセットコンロ用）
飲料水	ペットボトル 500ml×72本 2ℓ×48本
生活用水	

② 非常食糧・医薬品等の保有状況（主食、副食、医薬品、他）  有 ・ 無

主食	紙コップパン×2、パン×2、ビスケット×2 アルファ白飯（50食）
副食	
特別食	
定期薬	
医薬品	

③ トイレの準備状況

くるくるトイレ 100枚入×4

④ 通信手段（無線機、衛星電話機、安否確認システム、他）  有 ・ 無  
種類・メーカー・電話番号等

衛星電話	有 Docomo
MCA無線	無
無線機	無
安否確認システム	ドコモ Biz 安否確認システム
その他	Twitter 携帯電話3台

⑤ 利用者情報の管理方法（障害に対する留意事項、服薬含む）  有 ・ 無  
紙資料

⑥ BCP策定の有無（利用者の安否確認含む）  有 ・ 無  
昭和会共通

⑦ おすすめの備蓄品、整備品（簡単に理由もご記入下さい）  
特になし。

残念だった備蓄品、整備品（簡単に理由もご記入下さい）  
特になし。

4. 避難場所

2階 屋上

5. 福祉避難所の指定

・受けている

受けていない

以上